

相継ぐ重大労働事故、全社・全グループ会社への安全対策の徹底を!

展望

No.193

(発行)

日本共産党
神戸製鋼委員会

【連絡先】

(住所)
神戸市兵庫区
新開地3-4-20
(電話)
078-577-6255
(FAX)
078-577-2240
(メールアドレス)
info@jcp-shinko.jp
(ホームページ)
<http://www.jcp-shinko.jp>

働く者の未来を照らす
しんぶん赤旗
日刊:3497円
日曜版: 823円

7年度に入り、連続する重大労働事故による死亡事故が連続してきます(左表参照)。この悲惨な事故で亡くなられた方のご冥福を、心からお祈りいたします。

| 発生日&場所 | 被災者 | 内容 |
|---------------------------------|---|-----------------------------------|
| 4月7日 真岡製造所(4ミル定期修理) | 工事請負協力会社A氏(50歳) | Aライングロール架台のロックピン破断による架台落下で死亡 |
| 6月16日 神鋼鋼線尾上事業所500tプレテンション設備 | 尾上ロープ加工(株)(神鋼鋼線グループ会社)T氏(26歳、神鋼鋼線からの出向社員) | プレテンション加工時、ロープが跳ねて弾かれ死亡(下図の概略図参照) |

他に、4/19高砂・5/25神鋼鋼線・5/31神鉄・7/5阪神溶接機材・7/8加古川・7/10高砂・7/18神鋼建材...と休業災害が続発。特に4/19高砂と7/18神鋼建材は19歳の若者の重篤な災害です。

加古川労働基準監督署への申し入れ

6月26日、日本共産党神鋼委員会は、神鋼鋼線で起こった死亡事故を重大視し、管轄の加古川労働基準署に「真相究明と安全対策を求める申し入れ」をおこないました。

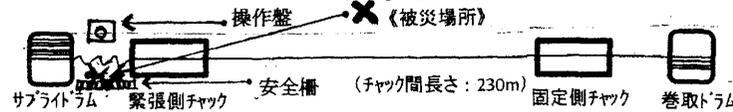
それは、14年5月の「神鉄棒鋼工場の死亡事故」と類似した事故であり、その時の教訓を踏まえて「ほんものの安全」を築く指導を強化してほしいとの立場から行ったものです。

- ①設備や職場風土に問題が多くて、安全ルールを守る作業環境になっていない。
- ②生産性のアップとコストダウンの追求のあまり、一人作業が増えていて、それが労働を生んでいる。特に若者や経験の浅い者の一人作業は禁止すべきである。

これに対して「我々も大きな問題意識を持って対処していく」との表明がありました。

この事故はグループ会社の構内で起こったものですが、神鋼も親会社として重大な責任があります。事故の本当の原因と問題点を明らかにして、グループ会社の隅々まで二度とこんな悲惨な事故が生まれぬよう、全社・全グループ会社へのしっかりとした対策の徹底を要求します。

【神鋼鋼線尾上事業所500tプレテンション設備の概略図】



緊張側ジャックでロープがスリップし、たわんだロープに瞬時に張力がかかって跳ね上がり、ロープの傍にいた被災者が弾かれた。

一人作業のせい? 操作盤の位置が問題?

安倍政治イ!

森友・加計いわゆるモリカケ問題をきっかけとして安倍首相の政治体質への批判・嫌悪感が広がっています。

「安倍首相や菅官房長官は態度が大きいし、上から目線。国会答弁も記者会見も、相手の後ろに国民がいるのを忘れて、人をばかにしたような、高飛車で、頭から反対意見を切り捨て、自分だけが正義という態度。あんなむちやくちやな答弁をやっていたら国民が怒るのも無理はない。」(自民党ベテラン議員、7月17日赤旗記事より)

それは都議選での自民党大敗、内閣支持率の急落、仙台市長選での野党共闘候補の勝利などに明確に現れています。

都議選、存在感示した共産党

都議選では、「都民ファーストの会」という新しい受け皿が登場。メディアは、都民ファーストに支持が大きく流れ、日本共産党は埋没し、現状維持も難しいとの予想でした。結果は、2議席上積みでの19議席。政界に驚きが走りました。

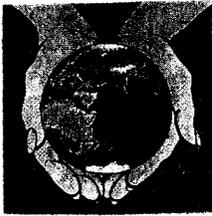
それは第一に、自民党の支持が大きく崩れるもとの、安倍自公政権への一番の対決者・日本共産党への期待が広がったからです。

第二に、日本共産党が野党と市民の共闘をよびかけ、実践してきたことに、これまでにない広範な人々からの評価が高まったからです。実際、都議選でも他党・他会派との相互支援が大きく広がり、力を発揮しました。

安倍政権を打倒して野党連合政権

安倍政権の崩れは、もちろん東京だけのことではありません。日本列島各地で起こっています。

来るべき総選挙では、国民のたたかいを更に広げ、野党と市民の共闘を必ず成功させ、安倍政権を打倒して、野党連合政権の道を開きましよう。われわれ国民の力で政治を変えられることができるのです。



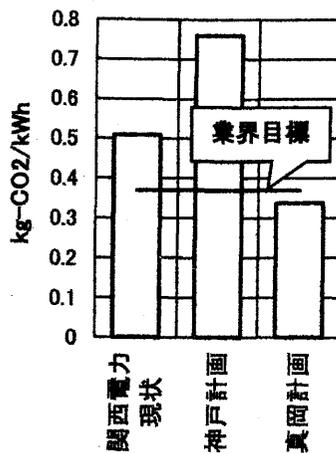
地球温暖化だけでなく、事業収益性からも石炭火力発電増設は関西電力と共に海を！

地球が元気で
あつて、ハイ
私も生きられる

神鋼は安定収益源として電力事業に期待し、真岡地区に火力発電の最高の効率と言われるガスコンバインド方式の125万kWの発電所建設を進めています。神戸では関西電力への卸供給用に130万kWの石炭火力を増設する計画です。世界的な温暖化対策や電力需給動向から、石炭火力増設が神戸発電1、2号機のように安定収益源となるのか疑問です。資源エネルギー庁によれば、神戸発電2号機が稼働し始めた時には電力需要は増加傾向でしたが、省エネ、節電等が進み2010年以降電力需要は減少傾向です(図2)。

石炭火力増設は安定収益になるのか？

(図1) CO2排出原単位



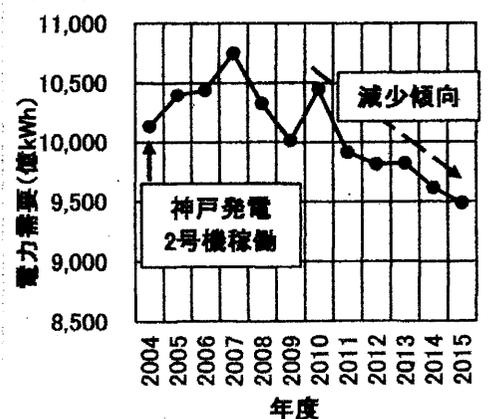
今年3月には、中国電力と「国が計画している「蘇我火力発電所建設に関わる環境配慮書」に対して「石炭火力発電所を単に新設するものであり、環境保全面からは極めて高い事業リスクを伴うもの」「0.37kgの達成ができない」と判断される場合には、施策の見直し等について検討することとなる」との意見を提出しました。

環境省は、CO2発生量が最も多い石炭火力発電所建設の計画を持つ電力会社に対して強い懸念、不満を示しています。山本環境大臣は、最近、毎日新聞やロイターとのインタビューで「(石炭火力発電)事業からの撤退が相次ぐ世界の潮流に逆行しており、見識を疑う」と発言。

二酸化炭素排出量削減は世界的課題

パリ協定締結後、CO2排出を巡る状況は大きく変化。政府は2030年度には2013年度比で26%、2050年度には80%削減を目標(国の約束)に掲げました。これに従い電力業界は、発電によるCO2発生量を電力1kWh当たり0.37kgに下げる目標を定めました。(図1)

(図2) 電力需要推移(資源エネルギー庁)



関西電力は、今年になり赤穂発電所の石油から石炭への燃料転換計画を撤回、千葉県で東燃ゼネラルと計画していた石炭火力新設を断念。電源開発も高砂石炭火力発電所建て替えについて、環境影響評価の手續きを延期。いずれも環境問題とともに、事業収益性に疑問が持たれたことが理由とされています。背景に、石炭火力発電所建設費の大きさ、電力業界の構造変化と電力価格の低下、再生可能エネルギーによる発電量の増加などがあります。

企業理念と整合するのか

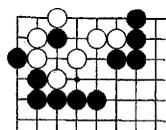
神鋼は「三つの約束」の一番目に「信頼される技術、製品、サービスを提供します」、「六つの誓い」の一番目に「高い倫理観とプロ意識の徹底」、五番目に「環境への貢献」を掲げています。

これらに照らせば「卸供給先の関西電力がCO2削減目標達成を目指しているから、業界目標を超えるCO2を発生する神鋼の石炭火力増設(図1)は国の目標・計画と整合する」との関西電力任せの姿勢から脱皮し、関西電力と共に石炭の利用を再考すべきではないでしょうか。

現在、関西電力の火力発電所で稼働している石炭火力は舞鶴のみです。

詰碁

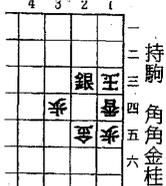
九段 結城 聡



黒先 思いついた作戦が必要。①②で二段

詰将棋

八段 伊藤 果

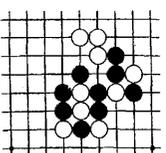


持駒 角金桂 二三四五六 銀王馬歩 卒

脱出阻止です。(10分で3級)

詰連珠

九段 岡部 寛



黒先 四で三でもなす手。(5分で3級)